

平成26年度平塚市地方卸売市場運営審議会委員委嘱式及び
同審議会第2回平塚市地方卸売市場運営審議会 議事録

日時：平成27年(2015年)2月5日(月)午後1時30分～午後2時30分

場所：平塚市漁業協同組合会議室

出席者：11人 山原委員 高橋委員(市議会) 関委員 鈴川委員 磯村委員 宇田川委員
梅原委員 高橋委員(買受人) 山下委員 田中委員 高橋委員(生産者)

開会

1 委嘱状交付

当審議会の任期満了に伴い新委員へ委嘱状の交付を平塚市長が行った。

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 会長、副会長の選出について

互選の結果、会長に関委員、副会長に山原委員が選出された。

(2) 平塚市水産業及び水産物地方卸売市場の概要について

〈事務局〉(平塚市水産業及び水産物地方卸売市場について説明)

〈委員〉 買受人の公募をしてきて、状況はどうか。

〈事務局〉 周知はしてきているが、応募は来ていない。

〈委員〉 新しい買受人が参入してくるもののメリット・デメリットはどうか。

〈委員〉 箱買いではなく、1匹のみ買う買受人もいる。買受人が増えるほど、細かい対応が可能となっていく、市場の魅力向上に向かうのではないか。

(3) その他

〈委員〉 平塚新港で水揚げされた物を把握しづらい。

〈委員〉 新港ができて、実質的に使っている漁港と市場が離れてしまった。新港側へ移転して欲しい。それによって把握しやすい状況になるのではないか。

〈委員〉 市場の業界全体が右下がりになっている状態の中で、なんとか営業努力を続けている。これからも地物の有効活用も進めたい。

〈委員〉 さがみ縦貫道の開通で、外から人が来やすくなってきた平塚市は「海のあるまち」という強みを生かしていきたい。それは市場だけではなく、水産関係者全体で協力して盛り上げていきたい。昨今再評価されている日本食を地物で、取り扱うような施設と一緒に市場を整備して、平塚の

核となってほしい。

- 〈委員〉 市場や港というのは、平塚市民でも来たことがない方も多いと思う。日本食が世界遺産に登録され、いい機会なので魚のアピールに協力したい。
- 〈委員〉 地物を食べて、買って帰ることができる環境を作って欲しい。また、魚の獲れた情報発信をしたらどうか、たくさん漁獲された日にはその旨をテレビで放映するとより足が向くのではないか。子どもたちへの間口も広げることを検討してほしい。
- 〈事務局〉 平塚市漁業協同組合の方で HP やメールサービスや SNS 等を使って、情報発信をしている。また、テレビで毎日発信することは現実的に難しい、他方では地元ラジオ局とタイアップして、直売会からの実況放送等もやっている。
- 〈委員〉 地引網等を使って一般の方にも浸透させる試みも欲しい。
- 〈事務局〉 地引網は以前 5、6 カ統あったが、数年前で漁業者の高齢化等により廃業してしまった。しかし、様々な方からの要望があり、昨年コンパクトな地引網を作り、事業を復活させる試みがされており、去年の秋には一般客を対象にしたイベントを行った。ただし、地引網というものはノウハウが必要であり、今はまだ社会実験的な段階なので、これからの発展を期待していただきたい。
- 〈委員〉 小学生への水産関係の学習も推進して欲しい。
- 〈事務局〉 小学生には市場や漁港の見学会も随時行っている。ただ、受け入れ側が早朝の市場を見せること自体はできても、学校側の対応が難しいという点がある。そのほかには、ふれあい給食といって、市内小学校へ漁業者等が赴き地元漁業に関する学習や地魚を使った給食を食べる事業を行っている。
- 〈事務局〉 平塚新港は平成元年から着手した当時は、県の計画で、厚木市内に卸売市場を統合しようとする動きがあった。元々の計画では、平塚新港で水揚げ・荷捌きしたものを統合した卸売市場へ運び込むことを考えていたが、その市場の統合計画もうまくいかず現在に至っている。
- なお、市場機能を平塚新港に移すとなると用地や都市計画法等の課題もあるが、仮に荷捌き施設を使う場合には、地元水揚げ以外の多くの生鮮品も取り扱うことになるため、手狭になる可能性が高い。昔は卸売市場の中で荷捌きをしていたが、卸売市場内の混雑を解消するために荷捌き機能を平塚新港に移した経緯がある。
- また、インフラ整備については、予算面で大変厳しい部分があるが、漁港関連施設の在り方や配置について検討している。
- 〈委員〉 旅行者等の他地域の方に寄ってもらえる場所を提供してほしい。健康を

考えると地物は間違いのないものなので、大人や子どもも関係なく、もっと地産地消を定着させて欲しい。

〈委員〉 さがみ縦貫道が開通し日本海と繋がることで、そちらの水産物も入ってくる反面、平塚市の水産物も勧めていけたらいい。またその先にはロシアもある、このような経済圏の広がるチャンスを掴んでほしい。

〈委員〉 皆様の意見や感想を整理すると、市場やその他施設の整備というインフラの観点と市場の役割の向上といったソフトの観点での意見に分けられる。

〈委員〉 市場に出さない魚はあるのか。

〈委員〉 普段では、売りに出せないような魚も、あさつゆ広場に回すことで無駄は大分減った。

〈委員〉 お金については簡単にはいかないと思うので、できることからやっていく姿勢で行って欲しい。平塚市には市場や漁港という財産がある。効果的なアイデアで大きく改善するのではないだろうか。例えば、地引網の件もあったが、たとえ試行的にでも一般の方に見せてもよいと思う。

閉会